

- 裏剣仙人池ヒュッテピストン
- 2024年9月26日(木)～30日(月)
- 参加者：H、K、森 M (記)
- 費用：ケーブル・バス往復¥7380、剣沢小屋¥14300+13200、仙人池ヒュッテ¥12500 高速¥11080  
ガソリン代約¥5600

■ 行動記録

- 9/26 20:10 近鉄高の原集合
- 9/27 1:43～7:30 立山駅 ⇒7:40 美女平 ⇒8:25～50 室堂ターミナル ⇒9:50 雷鳥沢 ⇒10:23 大日尾根分岐  
⇒11:58～12:55 剣御前小舎 ⇒13:40 剣沢小屋
- 9/28 5:50 剣沢小屋 ⇒7:35 長次郎谷出合 ⇒8:18～41 真砂沢ロッジ ⇒9:07 内蔵助平分岐 ⇒二股 10:00  
⇒12:38～44 仙人峠 ⇒13:20～40 池の平小屋 ⇒14:13～19 仙人峠 ⇒14:30 仙人池ヒュッテ
- 9/29 6:17 仙人池ヒュッテ ⇒6:0～50 仙人峠 ⇒8:10 二股 ⇒8:57 内蔵助平分岐 ⇒9:25～10:15 真砂沢ロッジ  
⇒10:50 長次郎谷出合 ⇒13:23 剣沢小屋
- 9/30 6:02 剣沢小屋 ⇒7:00 剣御前小舎 ⇒8:22～31 雷鳥沢 ⇒9:25～10:00 室堂 ⇒10:45～11:00 美女平  
⇒11:10～32 立山駅 ⇒12:02～13:45 吉峰温泉 ⇒19:50 高の原解散

- 以前から仙人池に映る紅葉の裏剣を見たいと思い 2022 年、2023 年と計画したが天候に阻まれた裏剣、去年は小屋仕舞最終日宿泊の設定が裏目に出て 30 cmほどの積雪にあきらめたが、今回は 9 月末の計画としてようやく実施することができた。仙人池ヒュッテ宿泊が必須だったのと、今年は能登半島地震の影響で樺平までの縦走ができないので室堂から仙人池ヒュッテまでのピストンの計画として一日目は剣沢小屋泊、二日目は仙人池ヒュッテ泊、三日目は再び剣沢小屋泊とすべて一日の行動時間は短めだ。直前の天気予報は悲観的だったが降水量は少なく、途中での撤退も選択肢の一つとして当日を迎えた。木曜日夜出発、立山駅前の駐車場で仮眠することでスムーズにケーブル・バスを乗り継いで室堂に到着。平日ではあるがやはりハイシーズンで多くの人出だ。天気も良く目の前に青空をバックに立山から大日岳までのパノラマが広がる。雷鳥沢を抜け、大日尾根経由で剣御前には昼頃到着、小屋前からは剣岳が望めるが、主峰には雲がかかっている。ここからは下るのみなのでゆっくり休憩して剣沢小屋を目指し午後二時前に到着した。小屋前からは剣沢を挟んで剣山荘と剣岳から八ッ峰の尾根が広がるがなかなか主峰の雲は取れないし、夕方に



朝のみくりが池に映る立山連峰



剣沢小屋前からの前剣と八ッ峰

は一時周囲が真っ白になる時間帯もあった。翌朝も曇っていたが剣岳も八ッ峰、さらに東の雲海の上に浮かぶ山(唐松岳か五竜岳)も見え雨の心配はなさそうだった。剣沢の下りは道が悪く足下に注意が必要だ。さらに最近では雪渓がどんどん小さくなり雪渓の上を歩けないため、右岸の高巻きで時間がかかる。平蔵谷出合付近には一枚岩のトラバースがありロープや鎖を頼りに慎重に通過、長次郎谷出合のところで雪渓を横切り、左岸に渡る。途中もう一か所雪渓を下ると道は緩やかにになり真砂沢ロッジに到着した。静かなところでテント場も広い。ここからは緩やかな剣沢左岸に行く。途中丸太の岩場をへつって慎重に通過し、二股の吊り橋に到着。目の前に荒々しい三ノ窓雪渓が現れるが、こちらも下の方は雪渓がなくなっている。ここからは標高差約 550mの登り、左手に小窓雪渓や八ッ峰から池平山に続く山並みを見ながらゆっくりと登り、予定通り仙人峠に着いたが、まだ時間も早く池の平小屋からの風景も見するため、池の平小屋までピストンしてから仙人池ヒュッテにたどり着いた。水平歩道が通れないため、今年の客は例年の半分くらいだそう。仙人池は小屋のすぐ前だが、八ッ峰はすっかり雲に隠されていて現れる気配はない。夕方も八



剣沢一枚岩のトラバース、鎖が頼り



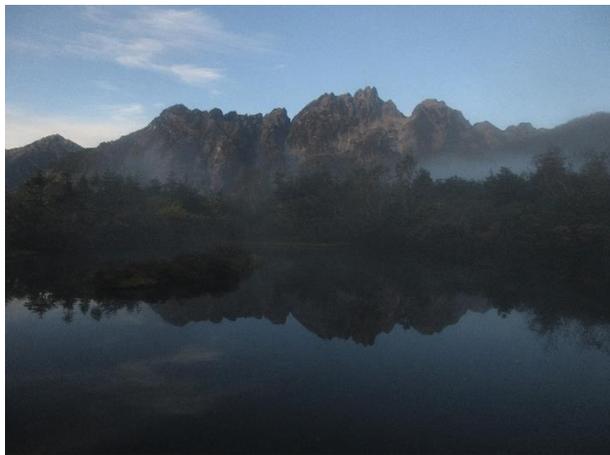
沢沿いのへつり、水量がすくなく恐怖感はない



三ノ窓雪渓、近年雪が少ない



日の出前、仙人池に映る八ッ峰、これが今回の目的



少し暗めに撮影



朝もやが出て幽玄の世界、水墨画のようだ

八ッ峰が現れるのを待ったがガスが流れて池に映る八ッ峰を見ることはできなかった。翌朝、薄暗い中、池の正面に八ッ峰の稜線を見届け、日の出前の朝食を済ませるとカメラをもって池のほとりに陣取り刻々と移り変わる、池に映る八ッ峰の写真を撮り6時過ぎに出発した。空は晴れ渡り雲海の向こうに白馬から五竜・鹿島槍と後立山の山並みが輝いている。仙人峠のベンチからも八ッ峰を堪能して剣沢に向けて下り、昨日のコースを逆にたどり真砂沢ロッジでゆっくり休憩してから剣沢小屋を目指す。途中の雪渓の横断は雪面が緩んでいて昨日より歩きやすい。このあとさらに一枚岩の通過や高捲きを慎重にこなして、午後1時半前に剣沢小屋に到着、ゆっくりと夕方までくつろいだ。最終日は朝からガスっていて山並みが隠されていたが今日は剣御前小屋を越えて下るだけ、歩きはじめると天気もよくなってきて、約1時間で剣御前小屋に到着、ここからのんびり室堂を目指し予定通り9時半頃に室堂に到着、バス・ケーブルを乗り継ぎ立山駅に降り立った。帰りは温泉に立ち寄り入浴と昼食を済ませて、無事高の原駅で解散した。4日間を通して雨に降られることもなく、目的の仙人池の絶景を堪能することができた。



仙人峠からのハツ峰



仙人峠からの後立山、正面は鹿島槍ヶ岳



剣沢の雪渓、とぎれとぎれで歩くことができない



紅葉の雷鳥沢